

# 芯

校長室通信 No.7 2024/06/21  
文責：柿沼 透

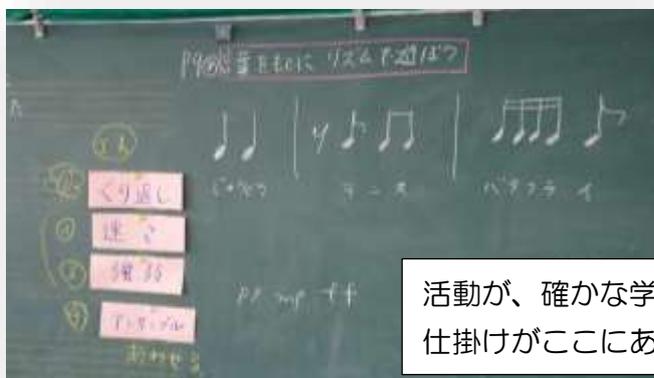
「芯」・・・トウシグサの随の部分。(三省堂『新明解国語辞典』より抄)  
トウシグサは和ろうそくの原料です。学校目標「しんの強い子ども」。花火のように華美ではないけれど、子どもたちの心の奥にある本気。その芯に火を灯す教育をみんなで進めていきましょう。

## 音楽づくり活動の妙!

**「音を音楽へと構成することを通して、  
どのように全体のまとまりを意識した  
音楽をつくるかについて思いや意図をもつこと」。**

**学習指導要領(音楽)[第5学年及び第6学年]は、  
(3)音楽づくりの一つをそのように明記しています。  
6の2柏木先生の音楽には、  
いきいきと、音楽づくりを楽しむ子どもの姿がありました。**

**「音楽を形づくっている要素」とは「音楽の文法(楽典)」です。  
それを、子どもたちが学ぶには・・・。  
しかも主体的に・・・。  
柏木先生は、「言葉による音楽づくり」を実践。**



活動が、確かな学習となる  
仕掛けがここにありますね。

まずは、ウォーミングアップ☆



リクエストされた曲を全て  
ピアノ伴奏♪  
すばらしい!



「言葉でリズム創作」をすることで、  
「音楽を特徴付けている要素」※と、  
「音楽の仕組み」※をどちらも習得。

※リズム、速度、強弱、拍、反復、  
呼びかけとこたえ、等



みんなからのアンコールに  
応えて☆



伝えられないのが残念ですが、相当盛り上がっています♪  
「言葉」と「体」だけで、思いや意図をもって音楽づくりができる。  
主体的に表現する子どもたちからは、「また次の時間もやりたい!」という声も聞かれました。